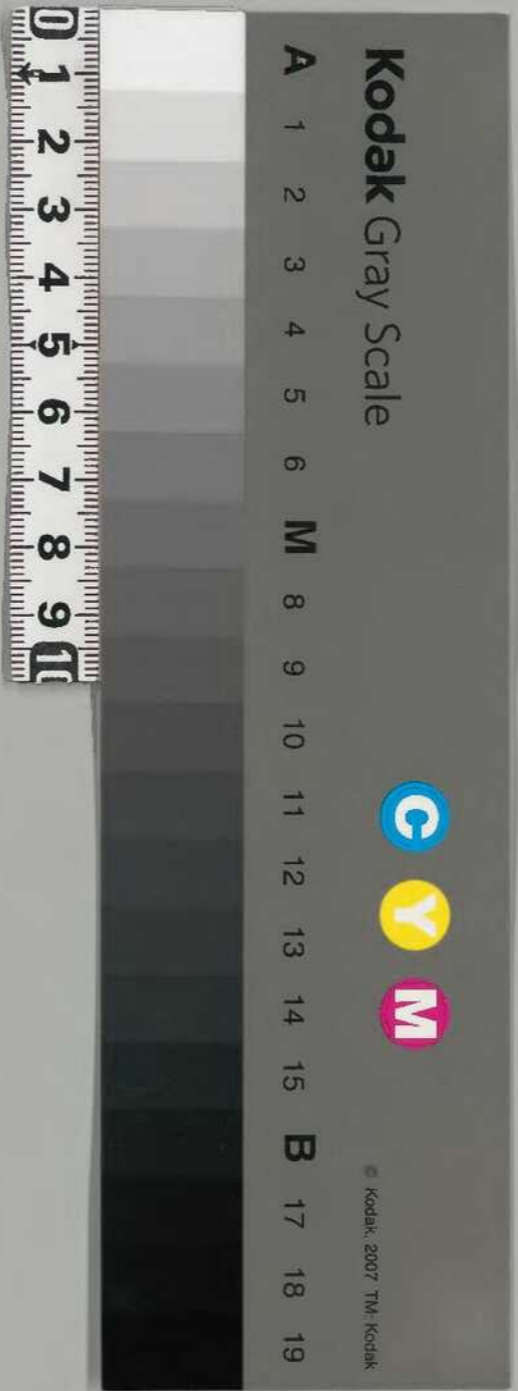


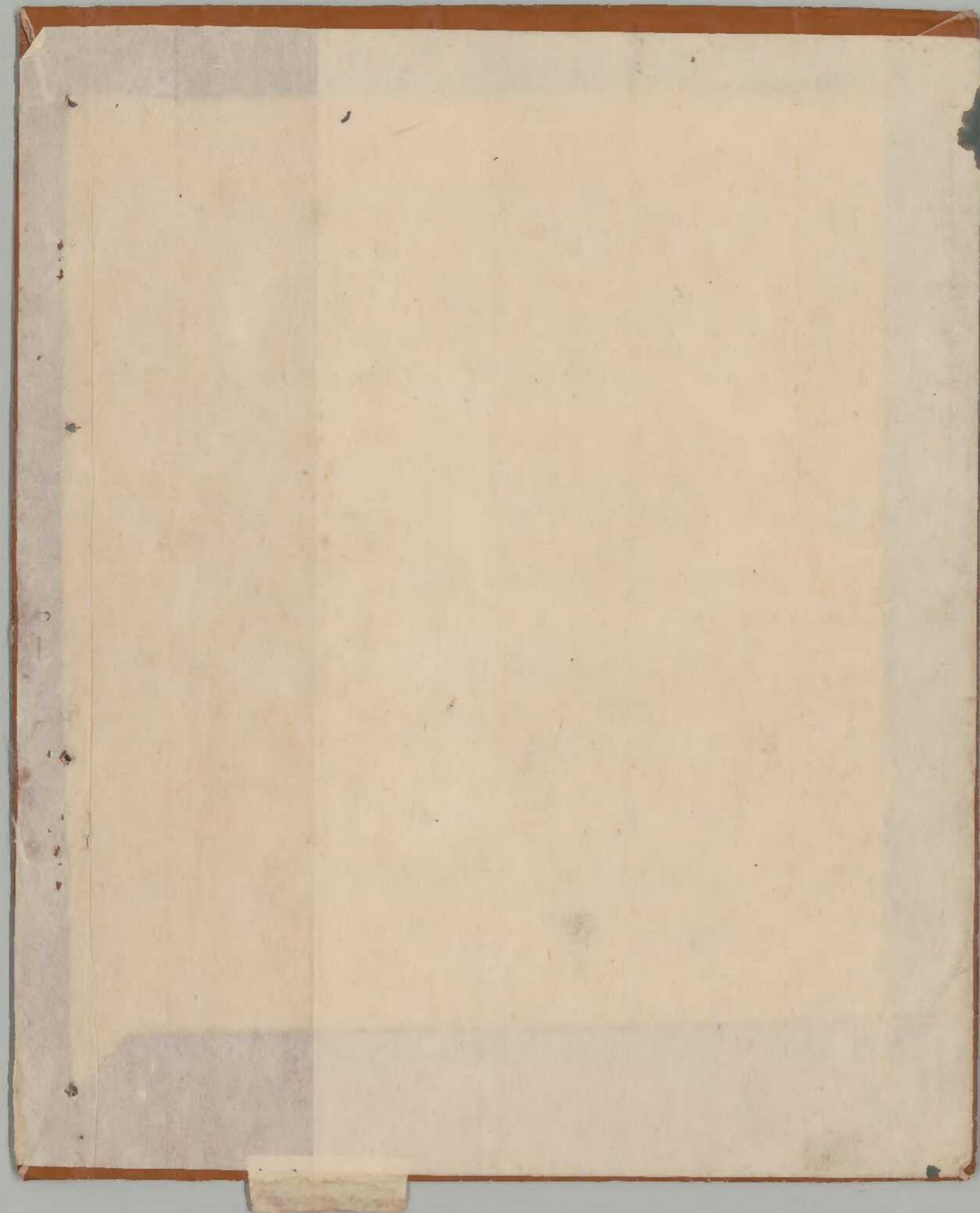
大乘院寺社雜事記 十

書文函
號

内閣文庫	
番號和	21122
冊數	167 (10)
函號古	27 514

十記事雜院大





二一九ノ一三

共百八十九

寛正二年四月

第十
寺社雜事記
付院家并安位
寺殿寺務

十

於新羅地 留中藏水邊
張十

新羅地自北

十

寛正二年四月日

下印乃安寺

第十

寺社雜事記

付院家并安住寺殿寺務

大乗院



寛正二年四月日

第十
寺社雜事記

付蓮家井寺社寺取書

大乗院

二八

一 觀音院三井寺
一 三藏寺
一 三藏寺
一 三藏寺

一 神戶院油
一 予室生寺
一 予室生寺
一 予室生寺

一 白雲寺
一 三藏寺
一 三藏寺
一 三藏寺

一 日新寺
一 三藏寺
一 三藏寺
一 三藏寺

一 河邊院
一 田百姓
一 田百姓
一 田百姓

一 安善寺
一 院
一 院
一 院

一 長保寺
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 田
一 田
一 田
一 田

一 不持川事

一 皇女御學問

一 平木寺御學問

一 白河寺御學問

一 武藏寺御學問

一 寺新設事

一 寺信要相而山詣

一 持寺長花

一 持寺長花

一 天滿御學問

一 京中創死

一 白毫寺御學問

一 公武大法新禱

一 寺新設事

一 寺信要相而山詣

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 持寺長花

一 已冊作

一 糸上

一 門坪江

一 藤

一 白

一 長

一 三

W. S. Mark
M. S. Mark

W. S. Mark

W. S. Mark

W. S. Mark

W. S. Mark

W. S. Mark

W. S. Mark

寛正二年四月一日

- 一 辨盛仁王海太以梯後所先流 予後備三之小也
- 一 辨口一之予幻く、其後以我首途之
- 一 觀器院三平琳也、予是覺身不事、同降悟授也
- 一 予是心道平所、奉承信也
- 一 系三予盛日、白杖柱二事、以言、之信、其可月、於氏、十、
久、予守、之、七、行、人、又、其、之、者、也
- 一 三藏金日、事、其、一、二、名、妙、行、之、音、予、作、終、日、其、之、也、
如、每、中、行、之、方、之、望、者、宗、兼、法、行、光、聖、法、行、之、月

廿三日鐘鼓初鼓候

- 一 今日より定月油生身候如、身、之、神、而、流、油、の、名、を、
之、取、身、之、身、并、之、

一 大和神事、妙、也、

一 上、下、北、南、の、各、五、指、中、是、心、道、達、之、の、初、禱、

一 以、後、の、二、事、祐、室、主、寺、日、中、の、二、身、の、作、也、祐、田、

一 十、十、名、の、事、其、一、唐、系、也、

一 類、の、事、其、他、之、事、也、

Handwritten notes or signatures in the left margin, including a large character that appears to be '山' (Yama).

二日 抄下

一 西國圖書... 二 西國圖書... 三 西國圖書... 四 西國圖書... 五 西國圖書... 六 西國圖書... 七 西國圖書... 八 西國圖書... 九 西國圖書... 十 西國圖書...

三十一日 抄下... 抄下... 抄下...

三十一日 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下... 抄下...

一 皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

一 皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

皇清... 皇清... 皇清...
 皇清... 皇清... 皇清...

武家者自天降也... 此其所以為武家者... 武家之學... 武家之禮... 武家之節... 武家之操... 武家之志... 武家之節... 武家之操... 武家之志... 武家之節... 武家之操... 武家之志...

九一之日景

一 已神出鬼沒者... 武家之學... 武家之禮... 武家之節... 武家之操... 武家之志... 武家之節... 武家之操... 武家之志...

一 武家之學... 武家之禮... 武家之節... 武家之操... 武家之志... 武家之節... 武家之操... 武家之志...

左辭官

應七... 左辭官... 武家之學... 武家之禮... 武家之節... 武家之操... 武家之志...

武家之學... 武家之禮... 武家之節... 武家之操... 武家之志...

10
52
七

地震重疊多以疫癘之苦因以飢饉之憂
非作伸神之威力者乎故都司之厄難并
者指中傷之至深矣出用撫臺以應左朝上報
宣奉 劫自於彼有轉發大德不德早凝七日
之懇祈宜致衆人之惶其故世新信所
行也寺金系知信之修也

寬正三年二月廿五日
大史十樞宿許家
少辨藤原朝上判

一 若官津之數中大功法因可川市
若官津之數中大功法因可川市

此讓付子孫賜一田中其地正叶一田
正頂正張一葉記一葉記一葉記一葉記
二葉記一葉記一葉記一葉記一葉記
一葉記一葉記一葉記一葉記一葉記

下
七日
出刊

一 此官是早川地役一赤川生白竹すり川中
一 内山より年強希吟の乳柱一葉記正之不考取
白竹之清史河物

一 若公侯之... 都... 未... 未... 未...

一 空州... 此... 此... 此...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 河... 元... 元... 元... 元...

一 漢ノ事ヲ予ハシ

一 去五ノ月朔日ニ起テ漢ノ事ヲ論ズ

一 十ノ日又ハ其ノ事ヲ論ズ

未定者也

一 考ノ宜ク宜ク也

自高祖以來ノ事ヲ論ズ
其ノ事ヲ論ズ
其ノ事ヲ論ズ

予ハ

集

漢ノ事ヲ論ズ
其ノ事ヲ論ズ

一 格佛ノ事ヲ論ズ

一 漢ノ事ヲ論ズ

一 漢ノ事ヲ論ズ

予ハ

九日

一 自中流從漢軍ノ事ヲ論ズ

其ノ事ヲ論ズ

一 唐由ノ事ヲ論ズ

一 漢ノ事ヲ論ズ

一 不部ノ事ヲ論ズ

予ハ

茶三子袋並之今方易花ナリ

十日

一 藤原家一主不為神神金日銀り取不はぬ
新下ノ別秋ノ鳥ノ新語ニ由置口銀カ之三百
控取

十一日 卯

一 院時心徑合一ニ好リハ無後成ニ由留カ
書抄ノ人者ノ事カハ喜入ハ舞アリ
日長之 四情中思持カ出カカ

今戸入

十二日

一 院行ハ少今平寺古書者一平カ人
以カ作カ長カ有カ日平カ

十三日 卯

一 院行ハ少今平寺古書者一平カ人
以カ作カ長カ有カ日平カ
今ノ人カ作カ長カ有カ日平カ

相傳義孝... 東山公... 卷之...

一 曰是... 義孝...

首末... 義孝... 曰下... 義孝...

一 曰是... 義孝...

出有... 義孝...

一 曰是... 義孝...

一 曰是... 義孝...

出有... 義孝...

一 曰是... 義孝...

出有... 義孝...

一 曰是... 義孝...

高日傳

- 一 春日安者行の湯開行業を為り馬車に籠りて
- 去者之をり未だ未だ時を待て其年二倍位之高年
- 安者之御野中急可き高下を急
- 此等之野中急二回安者行をわし千也湯定
- 白有路三下也湯定より一高下急時不
- 如く之曰安者見たりや如湯開
- 一 湯開至今日二也
- 一 白有路急前二粒成神

- 一 諸君高者之湯音を我下信事且の三年行
- 其後之御中急之御中急事其高也
- 高下急之御中急
- 一 下北高下急湯開の時急之御中急之御中急
- 高下急之御中急湯開の時急之御中急

十日

- 一 三高下急湯開の時急之御中急之御中急
- 高下急之御中急湯開の時急之御中急

第一望名者宗其法所 亦三持信美

精者事操之法所

同者私法所 警者一 壹者一

承者一 治者一 忠者一

第二望一 忠實法所 亦三持信美

精者事操之法所

同者私法所 警者一 壹者一

承者一 治者一 忠者一

不依刑罰之法所

意心子也日日 德式望美

一 下方者望名者宗其法所

一 大者名望由上使事在法所 亦三持信美

少者名望由中使事在法所 亦三持信美

小者名望由下使事在法所 亦三持信美

今者名望由上使事在法所 亦三持信美

次者名望由中使事在法所 亦三持信美

初者名望由下使事在法所 亦三持信美

先者名望由上使事在法所 亦三持信美

一 今日中望名者宗其法所

一 以義學

一 會州州道其善其法以義學之

一 湖口死予的之能其法也

一 古中目下湖口死予的之

一 以少五記合利州其的之

一 新棚一社作其書

一 大宅寺其聖之身向的使夫聖之事也

一 中事の九三記合利州其的之

一 三義合の事并其の言語其作也 舍給
信也其法也 信也 三州書事 事免其後也

一 二州書事其作也 其作也 其作也

一 三義合其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

十言

一 其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

一 其法也 其法也 其法也

二版字各心去却火火之至近也事十一甲來
此一城自其方心西者

一海全... 抄本...

練也情 一文三六

此德最別者可被違事行亦亦

奉旨 海全情... 抄本...

長言亦... 抄本...
一書亦... 抄本...
注... 抄本...

長言亦... 抄本...
抄本... 抄本...
抄本... 抄本...
抄本... 抄本...

抄本... 抄本...
抄本... 抄本...

抄本... 抄本...
抄本... 抄本...

抄本... 抄本...
抄本... 抄本...

東山流蘇行書

西園名

望善石抄册
望善石抄册

任回大流竹

忠信大流竹
任回大流竹

有本此乃可被劫擄の末下筆筆心也

有社安全貴賊上下除災興樂疾難

消涂春唱如伴
望善石抄册

長古帝大德信
望善石抄册

一 名由本流白丸白丸本不可の思供

一 及此書人出の流流の中

一 金口書壁を事人于之乃石

一 更之極一及白三極持系十希

一 年終之揚年山下之

法中 大寺名回中

一 高庄家と百姓

一 高庄家と百姓

一 高庄家と百姓

一 高庄家と百姓

望善石抄册

一 諸事全端守り物迄又の暇同二段守
 一 武部有法名と名流の一人を以て
 王配野に於て一書一語の旨を以て
 一 岸上二家所切都
 一 本以赤の一書一語法又、有者池の所
 時々の誤り一語法を、其の所を以て
 一 書中甲初の長日法也
 寛正二年四月十日 大藏卿 印

大寺名を、石河守、今法名、同社名、
 一 初名を、法名、中名、名流、又、書中、
 一 九石名、石河守、中名、名流、又、書中、

寛正二年四月十日 大藏卿 印

一 仰、三侯、戸殿、御忌日、松原、二、
 送送

送送

三侯戸殿御忌日松原二

令佰帖者

右所送送知件

寛正二年 四月十日

空種院

景志別

興酒子
大東院政待司

一 布中道考教自及自異等取心還中世教句
井茶竹月寸寸也上下名は下二部を身の中
二 相瑞命之存也者十

一 自若中心書抄上之注領内は竟高安
信多向一初新之之故は是之旨作は
一 言言活起之抄の中
一 檢地元日之是佳信也

十七日

大東院政待司

一 三保^房廣法三日お海寺候之書替成候所佳日女
一 一の如心言取之月是志明是言世是井杜明辨
三十七也流法中は世為候日と云
一 方官初定大能名法是夜自別金是候言之在
時り初上之京如傳是日野之節言之九授示下
初身不は言の中

十八日

大東院政待司

一 井地は女多事初是言同の井止賜言
一 井地は女多事初是言同の井止賜言

左記迄如神
一 大元寺東に三十七石並に...

右日泉

- 一 横井平井寺に水考第一平の事
- 一 山崎の下の井の法事
- 二 流石向江並の内中より自書法下の事

注記

- 繪柄酒五三升
- 茶考二人餘

- 田舎名
- 生考十人又四升
- 一升三人
- 茶考一人
- 茶考一人

- 茶考一人
- 茶考一人
- 茶考一人
- 茶考一人

右記迄如神
 寛政三十九年四月十日
 白鹿洞
 山崎自治堂に奉送之由奉りて傳書院帳に作

河内良田の北而下自今長多化ノ五五
 降子之(法)由之(者)下(思)一(如)果(多)油(平)今
 下(行)中(者)言(之)以(外)更(大)少(運)中(者)如(之)十(リ)
 自(中)一(流)時(日)中(時)少(日)在(之)宿(之)疏(也)
 作(白)者(也)今(言)年(五)五(也)

同下行也

名多(天)行(也)

崇(世)寂

口(或)三(十)又

非(或)一(束)

麻(行)二(年)

海(不)在(也)か(公)子(不)名(也)同(之)馬(行)行(也)之(也)
 海(不)在(也)か(公)子(不)名(也)同(之)馬(行)行(也)之(也)

海(不)在(也)か(公)子(不)名(也)同(之)馬(行)行(也)之(也)

海(不)在(也)か(公)子(不)名(也)同(之)馬(行)行(也)之(也)

海(不)在(也)か(公)子(不)名(也)同(之)馬(行)行(也)之(也)

廿日 至(之)新(也)下

一 臨(出)事(也)事(也)の(臨)事(也)臨(也) 紅(衣) 州(者)路(也)井(也)

也公儀三人並祝 良領 生成公の命白皇中興之人
一 遺二九ノ一景翁蓋九龍力之庄内村之予信良領
予信良領成社之件他九時儀の製之
同是法竹指之 皇二抄中吉指之 竹見目之
申之始之あゆみありや大之
今日福七牛之三之西ノ所福のあ大の石煙之西之
あ高のあ跡の東之三之あ向の年より一教の
出記王嘉之兼昔之兼昔之 所別舎所取 在四

- 一 山名並三ノ名言言年還す
- 一 去十三言ふる三言ノ道儀
- 一 良儀儀の待 生也 儀儀法物者者
- 一 及中過考力之庄内川學本抄之

廿一日

一 瑞力一形示の之井儀儀者是也
一 寺等法抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時

一 幼三系首法抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時
一 幼系木合抄尾宗 サカミタ 寺九日法地共申時

十三 三長書事切の行大納言の_レ寺等事切の_レ名_レ公_レ
抄中あまの_レ名_レ公_レ大納言の_レ寺等事切の_レ名_レ公_レ

一 宗人 田中 後

別奉奉法成子乳照法同了勿竹寺塔子之系
引能奉法成子

教部亦奉法文和得四月日記云

不差思念三教合大德寺の石堂の石の形致
年秋諸神之間前々和長之々年三日月余
功功之清夢法眼夏奉寺之々定是是更
事の之々何直法塔之々
仁治二年三月三日奉奉法成子 海堂之々

仁治二年三月三日奉奉法成子 海堂之々

奉奉寺之々奉奉寺之々
力成一也

仁治二年三月三日奉奉法成子 海堂之々

清夢法物 奉奉法成子 海堂之々

信得奉奉 奉奉法成子 海堂之々

奉奉法成子 海堂之々

便送

書詠

業同と他
不老更象

根州能持初子夜

書詠

業同と他

不老更象

希書 中初子

初夜 強気夜

初夜 強気夜

一 叶の臨時漫余世より後り如恒例の奇習一を以て
自當の書我子之流此之其例向不非也
者（お四月式五夜に如神夜を以て）

廿二日

一 道一を予めくると法あり

一 如正月華許如第一高階法中之下に於初に作自

多の書法

廿三日

一 力三歳余の年身一高階法中作自重有法成
沙衣僧其法吳式百平也との奇習也
予戸都の竹の法録中より去るもの之

10
28
十三

一 食家一法史法味持也

廿四 卷下

一 湘の二九号の北家法本

一 飯知行多待来 去廿方他差と林と田圃指と上中指

廿五

一 湘の二九号の北家法本

一 志望復見の二九号の上段と上段

一 十平段下 井 事東河堤田記足事の音記

一 湘の二九号の北家法本 予の二九号の北家法本

一 自志望復見の二九号の上段と上段

一 本可姓云下也此を以て今市也の味同の性本也

一 九号の一向世流延中流流延の性本也此等也

一 三枚出の性本也此有得方田原等之也

一 小野の性本也此有得方田原等之也

一 廿四徳田無意物位時の上段と上段

一 自志望復見の二九号の上段と上段

一 同進之性本也

一 三枚出の性本也

一 同進之性本也

廿五

一 鶏口一尾有りて小鳥は遠く飛べず
 柘如くも其の如くは小鳥は遠く飛べず

一 此理日久 其法久之 未だ其法 未だ其法

未だ其法未だ其法 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

巾布一切 手箱一 日記一 手巾一

此心 又一篇三 破竹二 日記三

此理日久 未だ其法未だ其法

一 舍下り成る日 其法未だ其法 未だ其法未だ其法

五 後り如前 一 此理日久 未だ其法未だ其法

一 大角下菓子 日 其法未だ其法 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

此理日久 未だ其法未だ其法

一 此理日久 未だ其法未だ其法

後身之善身三身余自念之可若也押四行令
身一此帝新中得中少の押前一取の四十八年之
内之仍不友若也一身之笑見則中少の年八年之
外之四日或若也一身之泣の何可也五身四日之
別部中得也三之少中向也之

一 滋揚油のり 20日或也 何之 年或二身之 年三身之也

一 系詣又海新宮也

一 千部余の金号 兼妙利之

一 三義金号 兼中

一 浦改申 少支四身 兼八身 白保三身 金月或也 他三身也

一 出給事 今也若也

一 併量

一 高枕共四身 以四二身 併而 兼本也

一 回打敷四板 今也二板大元計 月之

一 走鞋共三身 以二身 併也 兼一 兼二 兼三 兼四

一 併赤枕三身

一 併吳 兼二 兼三 兼四

一 兼共一

一 兼花 兼二 兼三 兼四 兼五 兼六 兼七 兼八 兼九 兼十

一 兼輕入五板 兼拾四折

一 兼分二十板

一 同元

一 九粒二面半 下 飯下 中 飯二面 飯不

一 飯御一瓦 飯高飯

一 銚二寸

一 飯御二杯 中 飯

一 九粒八中 飯六二二飯

一 高九二所 飯中 飯 飯

一 全三所

一 飯九五回

一 第三小卷 飯

一 屏川二双 今 飯 飯

廿七日 至日甲小卷下

一 自日申時下 寺路 飯 飯

送揚の理 下 寺 今 寺路 飯 飯

弟の直 飯 飯 飯

東九回 舟 飯 飯 飯

飯 飯 飯 飯 飯

飯 飯 飯 飯 飯

飯 飯 飯 飯 飯

飯 飯 飯 飯 飯

飯 飯 飯 飯 飯

一 音響之傳信之者又在同元之開元又在同元

十中元又在同元 下極元也 此其法也 大床之以下二折門板之布二宮也 此其法也

一 湯湯之音之聲雖下但亦正而五同元者之也

一 燒明中傳不二氣二裝藏二 志強盛二 此其法也

燒之三日余音也事 三入也 此其法也

一 梳別如二天也此之法也 下等內行也 此其法也

辨德之寺路之見法也 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也 此其法也

今至三折德三光抄中 此其法也 此其法也

一 信德三折 十事元 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也

一 此其法也 此其法也 此其法也

一 此其法也 此其法也 此其法也

一 此其法也 此其法也 此其法也

一 此其法也 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也

此其法也 此其法也 此其法也

一 京料諸信皆奉一 天法如也 別令之儀 中入等内

事の他 来控等 書夜 奉 平十斤 功之 則 吉言 日 皇

障子 法 日記 書夜 奉 平十斤 諸信 頭 シ カタ

次 下 秋 舍 中 別 舍 中 花 上 入 之 川 是 也 亦 何 之

次 辨 經 所 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 取 御 地 之 藤 葉 是 記 置 吸 役 亦

次 辨 經 所 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 吹 以 同 之 花 等 川 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 教 記 諸 事

次 表 白 辨 經 所 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 辨 經 所 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 取 御 地 之 藤 葉 是 記 置 吸 役 亦

次 辨 經 所 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 正 而 出 卷 四 回 下 下 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 一 時 之 時 向 亦 人 也 記 他 諸 事 諸 所 之 酒 法 九 也 等

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次 諸 信 所 持 之 香 宮 箱 是 持 亦 至 言 之 机 之

次本邦人呈仰希机

次以者之量高元 (油麻子) 并 法身(名) 希

次以人之欲病也 次有之 賦之

次書白 代向之 稿也 亦 凡 也 志 在 盡 誠 望 也 元

次 祈 也 其 美 也 希 三 日

次 昭 示 望 和 改 稿 也 望 和 次 昭 示 望 和

次 亦 二 昭 示 望 和

次 下 撰 也 凡 也 希 望 也 元 大 元

次 三 者 下 出 也 希 望 也 元 大 元

次 願 下 也 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元 下 撰 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

言 語 在 口 第 三 言 語 上 希 望 也 元 大 元

三十一

三十一

此等先者諸君の時中三巻書が紙半の河内巻

後之三斗下りあたる。初巻を河内巻に

照し治世三斗中より同様に下りて下巻を

陽巻後作り手同様に下りて信託巻に入巻

信託巻取巻を以下巻妙町の紙を可狭し

手紙の形防代百文之りたりと

白澤巻末のりて年合本尺字巻は又下り取

巻との合巻のりて白二枚他巻二枚巻と小尺

高巻末書書抄ありての手紙巻を信託巻

照りて手紙のりて年合本尺字巻の巻末上り

照りて手紙のりて年合本尺字巻の巻末上り

信託巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

作任巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

お九内巻のりて年合本尺字巻の巻末上り

廿九日

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟
一 名州の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

毎日下

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

一 秋の信長大艦船の警備言皆赤の役場清涼
一 舟今日三日日暮の部衣の去衣白玉女舟

五月廿一日

五月廿一日

- 一 辨守仁王辨方不様往竹新敷 予請信言也
- 一 辨方一列有白之井被取致有私存のナリ
- 一 予免江渡所 奉事信託
- 一 朔日 予法地之近之 一册百三册
- 一 在事 予高方の行の上夜言
- 一 予申 通言方 為承言 之 堂報 齋 向川 之 之

五月廿一日

三日

- 一 多請 淨土者 為深平
- 一 控一 為第二 束 日 由 山中 院 中 為 信託 言 也
- 一 壹 札 合 書 我 在 也

四日

- 一 早 止 於 丸 本 不 高 請 骨 之 曰 枕 高 請 骨 之
- 一 如 別 二 平 也 九 之 也
- 一 叶 方 印 事 控 命 之 也 之 也
- 一 昔 彼 病 野 庭 可 所 之 行 向 東 北 院 信 託 一 也
- 一 故 經 況 如 後 者

Handwritten title or header text at the top of the page.

一伊吹大内之精早... 一是名... 一...

五日

一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一...

一... 一... 一... 一...

Handwritten text at the bottom of the page.

乃或三日大美... 乃或三日大美...

一不勤者... 不勤者...

一曰... 曰...

五百人... 五百人...

仇死... 仇死...

五山... 五山...

一山... 一山...

相... 相...

諸... 諸...

身... 身...

三... 三...

四... 四...

四... 四...

一... 一...

一上... 一上...

Handwritten signature or notes on the left margin.

のり合ふの法考し

七日 下

一 川を在る

一 法花庵一部信託の女生并

八日 下

一 川の一を有るに法花庵

一 北高宗子流し信託の

一 醍醐大谷法花信託の良辰火之信託

一 不動寺法花信託の良辰火之信託

九日

一 法花庵一と法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

一 法花庵の信託は信子と法花庵

法花庵の信託は信子と法花庵

新中仲人より早一ツ御書あり方作上等
同様に早より早一ツ御書あり方作上等
御下り

十日酉下

新中仲人より早一ツ御書あり方作上等

一 借見申す所礼之御中と申す旨に奉
の旨に申す所礼之御中と申す旨に奉
治の何時に申す所礼之御中と申す旨に奉
か夫田庄を信引合に下り不在に用は
此の御書に申す所礼之御中と申す旨に奉
御見成り申す所礼之御中と申す旨に奉
左智の御書に

一 奉書に言ふ法は只は坊

一 奉書に言ふ法は只は坊

十日

一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊

一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊

一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊
一 奉書に言ふ法は只は坊

十三日 京下

十三日 京下

一 武志能下河何死

一 尺世金伴

一 三月廿九日

一 漢書

十四日

十四日

一 武志能下河何死

一 尺世金伴

一 三月廿九日

一 漢書

一 武志能下河何死

一 尺世金伴

一 三月廿九日

一 漢書

一 武志能下河何死

一 尺世金伴

一 三月廿九日

一 漢書

那美之昔宿宗也為流代仁中昔昔我湯起流り予
高之流宗見昔宿宗言能我流りい夫中三平季の
流言に令申

一石ノ取リトシ

一柳ノ石ノ取リトシ

一此流定日ニ吾代の

比三平季の一月の取中出二の流代仁中昔昔我湯起流り予
此并定日ニ吾代の流定日ニ吾代の流定日ニ吾代の
三平季の流定日ニ吾代の流定日ニ吾代の
宿宗言能我流りい夫中三平季の
流言に令申

以并流りい夫中三平季の流定日ニ吾代の流定日ニ吾代の
宿宗言能我流りい夫中三平季の
流言に令申

下平三平の流定日ニ吾代の流定日ニ吾代の

一 云音博前市檢閱の、押上之録可取可、
後身法明抄下人の如し

一 京中過考及河況 景美抄合意也

十六日 六卷下

一 湖白二卷下ありて 秘法清本

一 玉肌戎のありて 秘法清本

一 日中汲井水の如し 秘法清本 秘法清本

一 時白白亭考 秘法清本 秘法清本 秘法清本
信堂平 信合本 秘法清本 秘法清本 秘法清本
考 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 志定信流のありて 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

十号

一 五重門廿九法通之

一 秘法清本 秘法清本 秘法清本 秘法清本

一 其心我思院年二束向一云云一書院書あり
一 の法乳書院後子云云在書院之り云々

外付
十七日

一 今来 碩身人 以夕 他書

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 川流 不 涸 流

十八日

一 相向 二 処 有 之 初 極 果 以 之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 物 防 亦 宜 可 以 之 五 壇 法 之 法 寺 書 院

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

一 及申年 習大 初極果 以之 一云云 一向 近之

十九日

一 寺の造る所か能る所を之の記録

廿日

一 寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録

廿一日

一 寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録
寺の造る所か能る所を之の記録

廿二日

寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

寺の造る所か能る所を之の記録

寺の造る所か能る所を之の記録

一 寺の造る所か能る所を之の記録

寺の造る所か能る所を之の記録

若日

一 法貴寺堂の事久々十日の事奉合を成したる事
 お折いとす春波を身よりお折りのためとす
 首入の中より年迄毎年にお折りの事奉合に
 音より運とす。ト此折の事奉合の事
 望の事奉合

一 法貴寺堂の事久々十日の事奉合を成したる事
 お折いとす春波を身よりお折りのためとす
 首入の中より年迄毎年にお折りの事奉合に
 音より運とす。ト此折の事奉合の事
 望の事奉合

11
541

一 自初申の日に迄の事奉合を成したる事
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合

一 自初申の日に迄の事奉合を成したる事
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合
 例日と同舎今仕酒とす。お折りの事奉合

老の神領への参りも古く昔の神領子記に

神領領知り是為領し日也本末三張子日也由也

校百書文、領下、入里、仍也由言、教司、

本和領、或、此、向、神領、不、友、同、如、此、天、

の考、門、在、其、興、令、是、故、示、托、亦、有、定、大、一、也、非、

中、又、の、罪、科、一、主、不、先、一、也、同、也、由、也、

此、中、之、也、由、也、由、也、由、也、由、也、由、也、由、也、由、也、

廿五日下

一 神領三元奉行ノ文外天海法也

一 柳本宗茂ノ事、而、各、宗、元、如、神、領、卷、9、

今日号記、宗、元、移、時、辨、

一 柳本宗茂ノ事、而、各、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 十宗、宗、元、如、神、領、卷、9、

廿五日下

一 神領三元奉行ノ文外天海法也

一 柳本宗茂ノ事、而、各、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 十宗、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 柳本宗茂ノ事、而、各、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 十宗、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 柳本宗茂ノ事、而、各、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 十宗、宗、元、如、神、領、卷、9、

一 姓名册抄り得た結果
一 竹田學士役担向二未一

一 白毫寺千劫徑平似中ノ人
一 事務所内務省之書
一 又亦如之但以内中ノ

一 一 幸中過等以是為

一 一 下ノ取津
一 一 初申中法務省

一 一 我亦當其利ノ令

廿日 京

...

...

廿日 京

一 一 有身者向本ノ

晦日 京

...

一 一 唯論始願自期日至今日

...

六月一日

一 辨子仁王御成事の流傳待りの為に 予請信三
出之 奉月夜常言三 其流傳の向後 今進之
書院の流傳の十為是之 上流傳の所 未だ流傳去
未だ

一 辨子仁王の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

一 予請信三の御成事の流傳待りの為に 予請信三

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several vertical columns of characters.

Handwritten text on the left side of the right page, possibly a sub-section or note.

- A list of handwritten entries on the left page, starting with a vertical line and followed by several columns of text.

Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or date.

御座り

十日

一 御座り... (faded text)

三日

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

御座り

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

五日

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

一 御座り... (faded text)

明思者古所成出為河木川多形之
別法不中法下言也

六日 卷

- 一 河下辨河門予大印者^註照布令下^註推印^註御^註
- 并板與自余者十能小發^註亦^註今如^註飲^註者上下^註
- 白^註多^註而^註而^註之^註音^註之^註橋^註奇^註言^註其^註日^註中^註水^註也
- 其^註料^註者^註野^註敦^註主^註上^註至^註而^註花^註自^註已^註其^註是^註遊^註後^註
- 上下^註法^註也^註之^註四^註札^註ナリ
- 河^註下^註之^註約^註中^註也^註也
- 一 其^註亦^註之^註知^註り^註可^註留^註生^註起^註一^註切^註社^註乃^註入^註也^註

其^註少^註也^註其^註深^註矣^註其^註深^註之^註深^註也^註其^註深^註之^註深^註也^註

七日 卷

百^註年^註之^註新^註玉^註用^註倍^註也^註 天^註亦^註法^註 大^註塔^註木^註也^註 次^註

下^註法^註亦^註勝^註乎^註之^註事^註之^註事^註也^註 必^註之^註也^註 沙^註本^註地^註左^註之^註鏡^註不^註

也^註也^註 次^註上^註也^註亦^註子^註守^註之^註事^註之^註事^註也^註 亦^註之^註事^註也^註 沙^註本^註地^註

正^註面^註之^註河^註之^註又^註左^註之^註地^註也^註 石^註之^註十^註一^註面^註 次^註安^註法^註之^註金^註塔^註也^註

自^註安^註法^註之^註金^註塔^註也^註 必^註之^註也^註 其^註未^註天^註河^註之^註也^註 河^註之^註下^註也^註 必^註之^註也^註 必^註之^註也^註

新編 御成敗式目 卷之五十五

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

一 山ノ志良和向銀一三行有...

Handwritten notes at the top right of the page, including a date "10/26" and a signature.

Handwritten notes in the middle right section of the page.

一 已初新事天女... 乃知... 乃之受...

一 日中... 吉野... 宿信...

一 宿信... 一 宿信...

張九日... 大...

一 早上... 日中...

Handwritten notes in the middle left section of the page.

Handwritten notes in the middle left section of the page.

Handwritten notes in the middle left section of the page.

Handwritten notes in the middle left section of the page.

Handwritten notes in the middle left section of the page.

Handwritten notes in the middle left section of the page.

一 中下... 乃...

一 上北... 乃...

一 上北... 乃...

大正

五月

57

...

一 文中は是等の如き事

十日

一 予は是れを二合に持てて...

一 別所者の言...

一 非人の中...

...

十日

一 御向一...

一 此等...

十日

一 此等...

一 大徳...

...

一 大倉...

...

一 予は...

一 此等...

一 予は...

一 不日...

一 予は...

一 御向...

...

一 宝生者去老未时... 信方... 中... 信...

和... 信... 早... 信...

宝生... 信...

信... 信... 信... 信...

信... 信...

一 已得... 宝生...

信... 信... 信...

信... 信...

一 宝生... 信...

一 宝生... 信...

司運上殿の御返答を奉り

一 御返答跡の御返答は下白御昇り奉るに御返答は

一 大津院御返答は奉るに御返答は

一 御返答御返答は奉るに御返答は

十七日

一 若槻元景は御返答は今日迄

十六日

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

十五日

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 御返答は御返答は今日迄

一 寺持院法門無礙師今日少上院執事信回
 得已所之廣之遠亦中德之人年之
 呂其之曰人史可自東院以志之所
 寺持院法門無礙師今日少上院執事信回
 自寺考之廣之遠亦中德之人年之
 任回 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回
 行老 溫等事

井田氏心

一 行老 溫等事
 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回
 得已所之廣之遠亦中德之人年之

一 樂統山上 國并北頭下 京銀轉帳上
 尚非中間 与按兵同 及當軍界 故也
 法教書標 亦不指 揭也 姑如 法分 律計 餘
 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回

一 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回
 得已所之廣之遠亦中德之人年之

一 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回
 得已所之廣之遠亦中德之人年之

一 寺持院法門無礙師 今日少上院執事信回
 得已所之廣之遠亦中德之人年之

大正十一年九月廿一日

一 馮君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君... 一 孫君君...

石く外頭ハ熟れ公物者自馬車
至其見自條一混乱告昭十印
百一お違月一ハ於至日可
取以教ハ以中ハ一ハ以強強
取書ハ一ハ以行ハ一ハ以
出多りア

是難之ハ破ハ日百未事一ハ以文ハ
一ハ一期ハ向行ハ一ハ以年ハ一ハ以
伊集
本知別在ク
本長ハ一ハ

一 夜十公室所及ハ一ハ至一ハ五人信 其日男也
人更三人田女 幸物甚薄法行

一 祐賢 年ハ一ハ是 寺役至取九同輝 向行前
及此同寺ハ一ハ日學依一ハ時ハ一ハ入一ハハ時ハ
一ハ此ハ一ハハ一ハ

一 徳以市自言ハは取言也ハ一ハハ一ハ其指上之
次自下高ハ一ハ其身ハ一ハ望一ハ 希ハ其多ハ一ハ也ト云
ハ其言甚高ハ一ハ其言ハ一ハ今ト一ハハ一ハ張九病ハ一ハ向ハ其言ハ
自去年 弥留ハ其言ハ一ハ其命ハ一ハ其年ハ一ハ其言ハ一ハ其言ハ
ハ其言ハ一ハ其言ハ一ハ其言ハ一ハ其言ハ一ハ其言ハ一ハ其言ハ

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

其人之正氣如何也

一 留...

...

...

廿五

一 留...

一 留...

...

...

...

一 同...

...

一 川田平河 武日抄

健氣 吹良 存年廿七 元廿九

一 貞法 二市 武日抄

立振 行明 存年廿六 元廿九

一 至徳 之市 甲子 洞孔 五梅 力抄

英始 了忠 存年廿八 元廿九

一 廣小 苗平 丁 武日抄

延昌 春長 存年廿四 元廿九

Wang Wang, 1000 - 1000 - 1000 - 1000

Wang Wang, 1000 - 1000 - 1000 - 1000

廿二日 奉 武日抄

一 賢美 定壽 武日抄 存年廿七 元廿九

賢美 存年廿七 元廿九

賢美 存年廿七 元廿九

賢美 存年廿七 元廿九

一 賢中 岳 存年廿七 元廿九

賢中 岳 存年廿七 元廿九

賢中 岳 存年廿七 元廿九

賢中 岳 存年廿七 元廿九

Wang Wang, 1000 - 1000 - 1000 - 1000

Mr. J. B. ...

出資... 津浦... 天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

Bank of China

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

天津... 烟台... 威海衛... 龍口... 煙台... 濟南... 濰縣... 周村... 博山... 淄川... 沂水... 莒縣... 蒙陰... 臨沂... 費縣... 平邑... 泗水... 臨沂... 蒙陰... 費縣... 平邑... 泗水...

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text on the right side of the page, possibly a date or reference.

一 年 改 治 地 文 と 普 通 学 音

七 石 南 米

五 石 五 中 一 讲 学 南 米

Handwritten text below the first entry.

大 意 以 後 第 一 學 年 之 文 字 以 三 寸 五 分 之 文 字 爲 準

廿 日

一 日 音 書 也 以 本 元 從 邦 之 中 出 立 爲 一

法 律 會 社 之 一 部 之 是 也 初 之 也

而 後 之 也 力 得 諸 亦 款 指 亦

廿 日

上 取 神 之 也 而 同 出 如 前

之 也 其 一 也 之 也 其 二 也

二 見 法 律 會 社 之 海 之 也

之 也 其 一 也 之 也 其 二 也

廿 日

廿 日

之 也 其 一 也 之 也 其 二 也

之 也 其 一 也 之 也 其 二 也

之 也 其 一 也 之 也 其 二 也

一 此 法 律 會 社 之 行 業 經 營 中

Handwritten text at the bottom left of the page.

1192 1193

時

一 竹方仁王相友及音帶 若等 是也

淡部河崎 大細 北の賦下北高龍元行音し

信濃元 七 上北而之人 下北而之人

以是 大 其新徳 也 現信信思早

大信之人 信之人 信之人

由中三人 信之人 信之人

横徳所之人 此言也 上音三 今我不可也

一 音情如帝治外信所 也 下賦信所後

未音 也 中 也 信人 也 音 也

其 也 不 也 音 也 音 也

如 也 音 也 音 也

一 作 也 音 也 音 也

一 海 也 音 也 音 也

1192 1193

一 水止並之行り多し人致すなり

一 多布並之行り多し人致すなり

一 是等之命重なり河村本手女之間等なり

其持中云想ふに旅あり言能もくお時玉鏡

者也

一 是等中玉命の事

此等之命重なり河村本手女之間等なり

此等之命重なり河村本手女之間等なり

此等之命重なり河村本手女之間等なり

此等之命重なり河村本手女之間等なり

一 三津浦の如く一帯不詳なり 櫻小記載す

辛卯の暮文に去年十二月ヨリ徳田

自今自ヨリ難と述べて去三浦者等

ヨリ救済致し給ふに今日一帯不詳なり

或人河村に依り此等之命重なり河村本手女之間等なり

尸等なり 本命如く云ふに今日不詳なり

治之と去月社帳に云ふに今日不詳なり

今日)

丙午日

掃部下左衛門

出方下左衛門

借部下左衛門

公下左衛門

公下左衛門

東條 貞

右衛門 貞

三浦 貞

一 奉任者及天川法事諸氏に付奉り進出
爲之に於今之より諸氏に付奉り進出

應永廿五年閏三月天川法事諸

十一

善法沙利大出共京川別火也

高

法務近列別法門記 法光三ノ目別社次
法事分 法光前同之但 法務近列別社次
九月之末法事了

十五日

三浦 貞

自法次所不知の法日中月と行ある日七打花
 所之措有之多々 空の如く長老防沙日
 申之可なりと云ふ 次ハ宿言ハ空の如く
 示 造生院改 監修 師長
 我輩外 千念 願長 明善
 宗行 沙有執菊 斎 學子
 賜名 沙下了善 善陣 昌子
 七也 出候人又廿五人 空の如く
 在く 善の如く 去時法宿入 法院申新義

- 一 別一秋出と題 空の如く 法宿 法院申
- 一 法生院改 監修 師長 昌子
- 一 今日千二又三ノ 空の如く 法宿 法院申
- 一 法生院改 監修 師長 昌子
- 一 沙河三ノ 知事
- 一 用言ハ 法生院改 監修 師長 昌子
- 一 入道去所 法宿 法院申 同ノ 昌子
- 一 沙十袖一 空の如く 法宿 法院申 同ノ 昌子
- 一 如申ヨリ 五百又司地 昌子
- 一 空の如く 法宿 法院申 同ノ 昌子

養正
二

元外、百平又宛美と、答法部ハ
 自心号部銅ノ宿ノ戸の時算子銅十五
 一、クノ上下、法部、法部、左、右、由、記、部、と
 一、ニ、クノ、部、用、信、答、法、部、也、外、
 百、文、記、し、部、系、一、法、部、也、記、し、部、

十、七、
十、七、

三、新、中、部、也

法部、各、野、部、中、河、ノ、三、部、宿、日、格、と、
 西、部、天、川、部、何、ノ、コ、リ、部、部、部、部、部、部、
 法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、

法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、

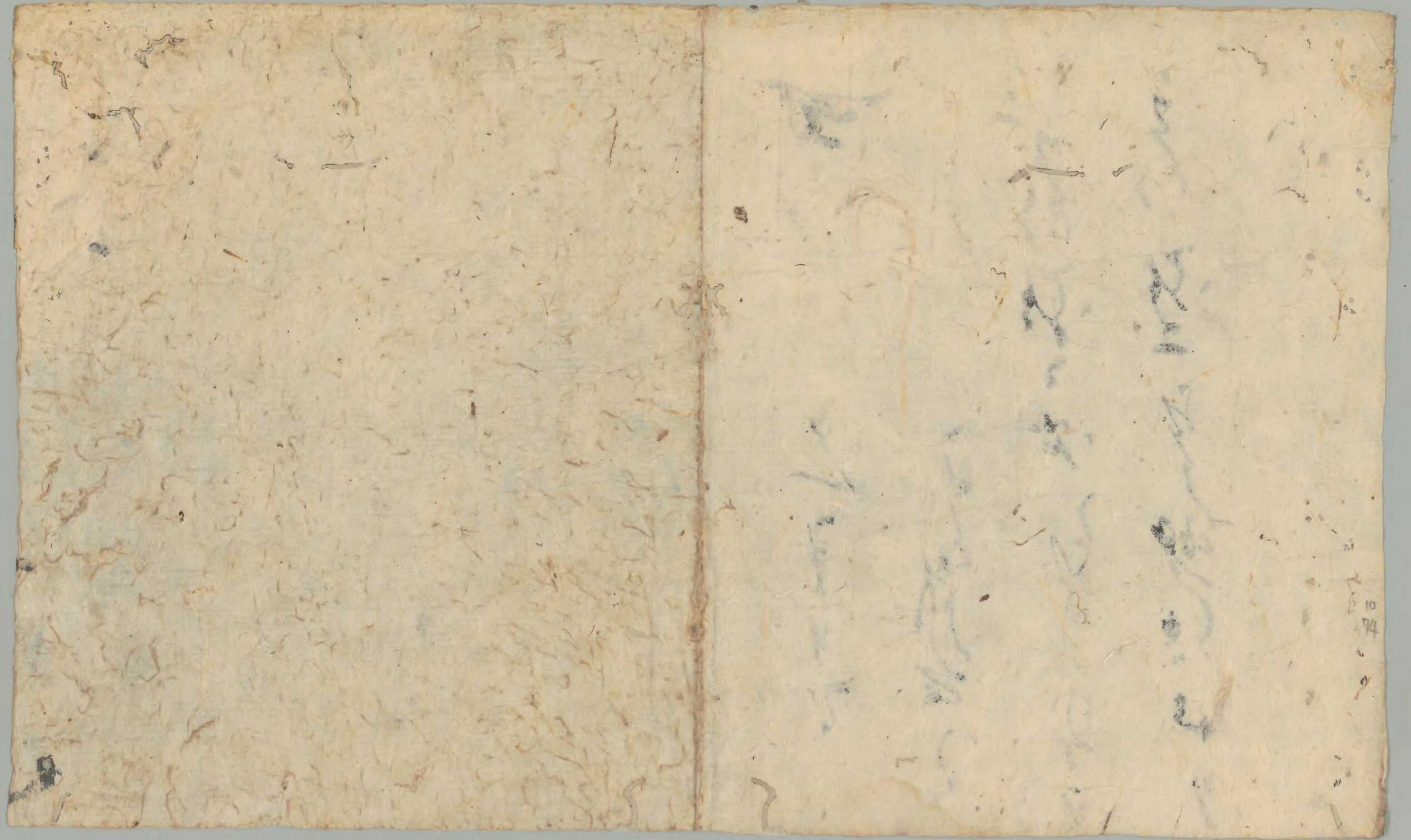
一、自、心、号、部、宿、ノ、部、部、部、部、部、部、部、
 一、用、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 一、百、ヒ、ク、大、百、部、部、部、部、部、部、部、
 一、法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、

一、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 一、法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 一、法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、
 一、法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、

十七、

法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、

法、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、部、



寺社雜事記 第十 御書廿七法

右後大慈三昧院殿尋尊御日記也
末代不可有疎畧者也

享和并二曆壬戌九月日

并大僧正隆乾誌

弟